

T P P交渉からの撤退を求める

質問 介護報酬引き下げによる課題は何か。とりわけ

介護報酬引き下げと
介護士育成の手立てを

市長 農業分野においては
メリットはなく、基本的には
国会決議を順守するよう
しつかり求める声を上げて
いくべきだと考える。あわ
せて、関連する市長会を通じ
て農業分野に不利益が生じ
ないようしつかりと対応す
るよう求める声を上げてい
くべきだと考えている。

質問 T P P交渉の大筋合
意が伝えられているが、米、
麦など重要5品目を交渉し
ないよう求めた国会決議に
反している。まだ決まった
ものでないと考えてるべきで、
政府に対して、作業の中止撤
退を求めていくべきでない
か。



今野 裕文 議員(日本共産党)

不足する介護関連職員 (単位：人)

	訪問介護 事業所	通所介護 事業所	グループ ホーム	特別養護 老人ホーム	計
介護職員	29	13	17	23	82
生活相談員	0	6	0	0	6
介護支援 専門員	0	2	2	0	4
看護職員	3	14	2	7	26
機能訓練 職員	0	7	0	1	8
栄養士	0	0	0	0	0
その他	11	3	0	1	15

市内98事業所(回答91事業所)へのアンケート(奥州市健康福祉部)

グループホームは7割5分を超える
施設で減収し、6割を超える通所介護
事業所が職員の資格や体制の確保がで
きないため、新たな加算を確保できず
減収しており非常に問題がある。職員
については、6割を超える施設で職員
が不足していると答えている。市とし
て一番不足している2級ヘルパーにつ
いて、手当てをする必要があるという
ことで検討している。

市長 約7割の施設の収入が減少し多
くの施設にとって厳しいものになって
いる。職員育成では、主任者研修受講
者が年々少なくなっており、受講費用
の負担が大きいなどの声が多く寄せら
れている。市としては、介護未経験者
や介護関係資格のない中途採用者への
支援をすすめ介護人材の質の向上に努
めたい。

請願等の審査内容

定例会において付託のあった請願等について、所管委員会で審査しました。審査結果は次のとおりです。

番 号	請願(陳情)名	請願(陳情)者	審査内容	議決結果	所管委員会名
陳情第19号	総合支所の組織再編にかかわる陳情	奥州市前沢区白山保志場58 奥州市政を考える会 世話人代表 鈴木秀悦	市における行財政改革の必要性は理解できるものの、地域を思う住民の声を十分理解し、市全体の利益に向けた運営を目指すため、組織の再編には、さらに時間をかけるべきとの観点から、採択	【採択】	総務常任委員会
請願第19号	私学教育を充実・発展させるための請願	盛岡市本町通り三丁目18の32 三和マンション101号 私学助成をすすめる岩手の会 会長 新妻二男 ほか1名	私立高校は地域の高校教育において重要な位置を占めており、保護者の負担軽減と私立学校の健全な運営に資するため、今後も助成は必要であるとの観点から、その願意を了とし、全会一致で採択	【採択】	教育厚生常任委員会
陳情第22号	現体制の総合支所を存続することの陳情	奥州市江刺区大通り1番61号 江刺地区振興会長連絡協議会 会長 廣野雅喜 ほか2名	地域を支える支所の体制については一定の議論と合意が必要であり、体制を再編するためには現時点で十分な議論がなされていないとの観点から、採択	【採択】	総務常任委員会
請願第20号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願	奥州市水沢区佐倉河字後樋120-1 岩手県教職員組合胆江支部 支部長 三好浩史	非常勤講師の割合が増え、教職員の身分の安定が危惧されていることから、非常勤講師の削減を含め、定数改善に向けた財源保障をしていくべきであり、教育に関する予算の増額は、子どもたちにとって学べる環境づくりにも資するものとの観点から、採択	【採択】	教育厚生常任委員会